

やなせたかし年譜 4 (1946年～1973年)

年	出来事	世の中の動き
1946年	中国から帰国後、高知新聞社に入社小松暢と出会う	メーデー復活。日本国憲法発布
1947年	高知新聞社を退社し上京。三越百貨店に入社し、宣伝部に配属	第一回参議院議員選挙 6・3・3学生発足 新憲法施行
1953年	三越百貨店を退社。フリーの漫画家として独立	沖縄のアメリカ民政府が土地収用令を公布、軍用土地を強制収用する
1961年	「手のひらを太陽に」を作詞	ソ連ガガーリン、ボストーク1号で地球一周 東西ベルリン間に壁構築
1969年	『やさしいライオン』を出版	GNP 自由世界第2位 沖縄デー、各地で集会やデモ
1973年	雑誌『詩とメルヘン』を創刊。月刊絵本に「あんばんまん」を掲載	第一次オイルショック、ベトナム和平協定

高知新聞社の同僚、暢と品原



街にはらんする横文字



食糧難・就職難の時代



男性の就職難は深刻で、東京中央勤労署管内では9%しか就労できなかった



主食の配給は、一人一日米2合7勺となったが、60%は米で残りは、サツマイモなど('48年)

海外から多くの復員軍人や引揚者が日本の本土に次々と帰還してきた。まずは食料と住まいを確保しなければならなかった。1947年、暢を追っかけるように嵩は東京に向かった。暢は、東京東横線の大倉山駅の近くの一軒家に間借りしていた。空襲で一面焼け野原の中で、住まいを見つけることは至難の業

で、多くの人は空き地に材木を組み立ててバラックを作りそこに住んだ。また、地下道など、野宿と変わらない生活が続いた。

また、仕事を見つけることも大変だった。なにせ、無職の人々が街にあふれ職を求めていたからだ。嵩はデザイナーや漫画を描く技能を持っていた。三越の宣伝部の採用試験を受けて合格したのも、すぐに仕事で生かせる技術を身に付けていたからだった。そして、小島功などが結成した「独立漫画派」グループに加入。三越を退社して独立した。漫画、作詞、出版、雑誌創刊と多方面で活躍した。